

フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ

感謝申し上げつつ、敬称を略させて頂いております。



2021.12

37号

県議会常任委員会の視察



連合神奈川女性部研修



三浦市役所フードドライブご寄付



KDDIフードドライブ



中永谷団地自治会フードドライブ



ベイシエイトH
フードドライブ



社会貢献支援財団より米寄贈



明治安田生命のフードドライブ



YMCA戸塚



三浦半島労福協フードドライブ



横浜みなみ生活クラブよりお餅



弁護士会フードドライブ



県庁のフードドライブ



中央労金防災備蓄品



市民の意思をつなぐ



WE21ジャパンさかえフードドライブ



南関東日野自動車フードドライブ



かながわ信金フードドライブ



金沢区社協がつないで↑
横浜市がつないで↓



(2020年度実績 寄贈 210トﾝ・提供 194トﾝ)

基本情報 2021年度の累計 (2021/11/30現在)



寄贈食品計	155.0トﾝ	提供食品計	1431回	158.9トﾝ
企業・生協等	100.4トﾝ	行政・社協	395回	32.0トﾝ
フードドライブ	45.0トﾝ	地域フードバンク	328回	48.9トﾝ
寄付金購入	9.6トﾝ	こども食堂等	681回	52.4トﾝ
		支援施設等	36回	1.9トﾝ
		福祉・病院・外国	214回	23.7トﾝ

10月寄贈 21.4トﾝ
提供 22.4トﾝ

11月の状況 11/1~11/30 寄贈 22.2トﾝ 提供 21.1トﾝ

寄贈 22.2トﾝ
フードドライブ 39団体34人

提供 149団体、216回、21.1トﾝ

団体別	寄贈重量
企業・生協・JA等	15.4トﾝ
フードドライブ	6.8トﾝ

団体別	提供団体	提供回数	提供重量
行政・社協	31団体	44回	3.9トﾝ
地域のフードバンク	27団体	45回	6.2トﾝ
こども食堂等	72団体	96回	7.1トﾝ
自立支援施設等	3団体	5回	0.2トﾝ
福祉・病院・外国関係	16団体	26回	3.7トﾝ

寄贈

紙幅の関係で感謝しつつ敬称略で報告します。

事業者寄贈

社会貢献支援財団、日本食研、コカ・コーラ、東京アライドコーヒー、資生堂、食支援ネットワークかながわ、日生協、ユーコープ、ミツハシライス

防災備蓄品

総務省、財務省、横浜市総務局、東京海上日動火災保険、レザーテック、山科工業、アクセンチュア、メッヂセオ、中央労金ほか

フードドライブ

店舗での実施のほかに、県庁の呼びかけで社内フードドライブも広がっている。
KDDI、かながわ信金、弁護士会、JAさがみ、JP労組戸塚、三浦半島労協、日産オートモーティブテクノロジー労働組合、青丘社、三浦市、ユーコープ、W.Coオリーブ、TFT横浜支部、金泉寺、和光紙器、横須賀市、上永谷自治会、横浜労協、横浜みなみ生活クラブ、ナチュラルコープヨコハマ、相模原労協、金沢区社協、アンリツ労組、県中央労協、パルシステム本部センター、ベイシェラトン、神奈川土建一般労組、ABCクッキング、金沢こども食堂すくすく、個人の方34名から持参、宅配で寄贈された。

2021情報交換会 「はじめてみませんか、フードドライブ、食品寄付」

11/24



Zoom開催で50名が参加。

フードドライブは参加しやすいSDGsアクション、地域の多様な連携、食品企業の思いなどの事例報告で、共感が伝わる情報交換会になった。

合意書締結団体

寄贈締結団体 205団体
提供締結団体 262団体
行政・社協 56団体
市民団体 206団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)

食品回収拠点 約300か所

賛助会員寄付状況

団体会員198団体 639口
639万円
個人会員 284人 1,429口
1,429千円
寄付
2021年度14,161,668円
累計 50,588,765円

食品寄贈は「作る責任」と「食べ物を粗末にしない」の心から

日本食研ホールディングス株式会社
お客様相談室次長 宇高 良治

四国愛媛県今治市に本社をおく調味料、加工調理食品メーカーの日本食研ホールディングスお客様相談室宇高良治と申します。フードバンク様への商品寄贈の窓口を担当しています。スーパーのお惣菜部とか、レストラン・居酒屋さんなどの外食店に販売しています業務用調味料、冷凍・冷蔵・常温食材の他、焼肉のたれ晩餐館等の家庭用商品を製造販売しています。CMの「カンカンカンバンサンカン焼き肉焼いても!…」というフレーズはご存知の方もいらっしゃるかと思います。廃棄物処理のコスト削減という目的もあるのですが、フードバンク様とお付き合いをさせていただくことで、「作る責任」と「食べ物を粗末にはしない」という意識の向上、そして社会貢献につながっていると思います。

今後について、弊社取扱商品の大半が業務用の調味料になっていますので、寄贈させていただいた商品を安心してご利用いただけるよう個々の商品の使用方法、メニュー集等わかりやすい商品案内をご案内したいと考えています。

今後ともよろしく願います。



(2021情報交換会でご報告いただきました) 地元のお遍路姿

第3回政策研究会 コロナ禍での食支援 「横浜市の一ひとり親と政策的支援」

11/19

第3回政策研究会は、コロナ禍で生活の苦しくなったひとり親支援政策を、横浜市子ども青少年局子ども家庭課課長奥津正仁さんに、担当係長熊倉賢太郎さんに聞いた。横浜市のひとり親世帯は26,391世帯。児童扶養手当の所得制限は365万円ではほぼ9割が相当する。コロナ禍でひとり親世帯の生活が苦しくなった状況に対し、国・市では通常の支援のほかに、ひとり親世帯臨時特別給付金等を支給したが、一時的な支援にとどまる。横浜市ではさらに食を通じた継続的な生活支援を行うと同時に、食品ロス削減にも協力頂くことを目的に「ひとり親世帯フードサポート事業」を実施している。一財)横浜母子寡婦福祉会に業務を委託。月に10~15回の配布を実施。

2020年8~21年3月2,527人が利用。21年度も継続実施している。

フードバンクかながわはこの事業に20年度39千個9トﾝを提供。

企業寄贈品、フードドライブ品がひとり親世帯への食品支援に有効に使われている。



利用者から寄せられたありがとうの声 (横浜市)

- ・本当に助かっています、いただいたものは全て使いきって子ども達も喜んでいますが、ありがとうございます。
- ・いつも感謝しています、私もサポートできる側に早くなりたいです。

小学校に出前授業

平塚市立真土小学校1クラス、大和市立下福田小学校2クラスいずれも5年生に藤田事務局長が食品ロスとフードバンクをテーマに授業。「僕たちに何ができますか?」「フードバンクで活動しようと思った理由は?」「フードバンクはどれくらいのロス削減につながっていますか?」などの質問せめ。

